

2024年度 入学試験要項

総合型選抜(AO入試)オープンキャンパス参加型



四天王寺大学
四天王寺大学短期大学部

目 次

建学の精神（本学の使命）	1
学園訓	2
教育研究の目的	2
1 学部・学科（専攻・コース）および入学定員	3
2 募集人員	3
3 「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）	4
4 出願・合格発表等について	8
5 インターネット出願の流れ	9
6 多様な受験生、不慮の事故等による負傷者・疾病者等への対応について	12
7 入学手続	12
8 学費等	12
9 実験・実習費等	12
10 国際コミュニケーション学科の海外体験実践演習(海外研修)の費用について	13
11 経営学科 公共経営専攻のIBU 公務員プログラムの費用について	13
12 経営学部総合奨学金について	13
13 基礎教育科目の履修および授戒会への参加について	14
14 入学辞退	14
15 交通手段について	15

建学の精神（本学の使命）

「きえ かつごう 帰依渴仰 だんなくしゅぜん 断悪修善 そくしょうむじょうだいぼだいしよ 速証無上大菩提処」

本学は、学校法人四天王寺学園が設置している大学院、大学および短期大学です。

学校法人四天王寺学園は、教育関係諸法に従い、聖徳太子の仏教精神に則って教育を行うことを建学の精神とする学園であります。

聖徳太子は、推古元年（西暦 593 年）に四天王寺を創建し、きょうでんいん 敬田院とされました。その設立の精神は「きえかつごう 帰依渴仰 だんなくしゅぜん 断悪修善 そくしょうむじょうだいぼだいしよ 速証無上大菩提処」であり、それは、全ての生きとし生けるものが、仏教に帰依し、深く信じ、悪を断ち、善を修め、速やかに仏の悟りを得て、その境地に達することのできる場所を意味します。また、敬田院と同時に、国家の基礎であり、仏教の重要な教えである慈悲行の実践の場所として、せやくいん 施薬院・りょうびょういん 療病院・ひでんいん 悲田院を設立して四箇院とされました。敬田院で研鑽を積んだ人材が、他の三院の運営に関わり、平和で人々が幸せに暮らせる国づくりに尽力しました。その敬田院の精神を建学の精神として、大正 11 年（西暦 1922 年）に聖徳太子 1300 年御忌記念を機として、学校法人 四天王寺学園は創立されました。

創立以後、聖徳太子のご偉業の中から、三経義疏（勝鬘経義疏・維摩経義疏・法華経義疏）を撰述されたことを受け、特に勝鬘夫人・維摩居士を範とした教育を打ち出し、また聖徳太子が制定された十七条憲法に準拠して学園訓を制定しました。十七条憲法の第一条「和を以て貴しとなす」に象徴される「和の精神」により、道德観・倫理観を涵養し、勉学・スポーツ等において自己を徹底して磨く教育を実践してきました。社会には時代ごとに国内外を問わずあらゆる課題が存在しますが、その課題解決のために、利他の心を起こし、磨き上げた自己の知識・技能をもって、人々に寄り添える人材を育成することが本学園の使命であります。

先にのべた敬田院設立の精神は、教育的には次のように理解できます。

「他者や物事の内に潜む善さを信じ、その実現を心より願うところに、自己の善さの実現も可能となります（帰依渴仰）。そのためには人々や物事の善悪を深く思慮し、相互に省みることによって悪を断つとともに、善の実践に努めなければなりません（断悪修善）。そうすることで、速やかにそれぞれの善さを実現することが可能となります（速証無上）。他者にとっての善さは私にとっての善さでもあり、社会への貢献とはそうした相互の善さを具現化する営みに他なりません。そのための思慮と省察を積み重ねることによって、私たちは他者と共に己の計らいを超えた生命のもとで、生きる意味を覚ることができるのです（大菩提處）。」

善さとは、あらゆるものの内に潜んでいるそのものらしさ、本来の姿、真実のあり方のことを指します。「しよあくまくさ 諸悪莫作、しよぜんぶぎょう 諸善奉行」とは太子が、生涯大事にされた經典の一句であります。その意味は、自分の感情や欲望への執着に囚われた自我に気づき、それを超えて本来の自己の善さを実現しようとする行為は、他者や物事の本来の善さの実現を願い、他者と関わろうとする行為と一体のものであるということを表しています。太子は、現実社会を「せけんこけ 世間虚仮」と見て、これを超えた仏の無我の世界を「ゆいぶつぜん 唯仏是真」とし、それに向かって人々が共に手を携え、真実に生きる道を示されたのです。

学 園 訓

- 一、和を以て貴しとなす
- 一、四恩に報いよ
四恩とは
 国の恩
 父母の恩
 世間の恩
 仏の恩なり
- 一、誠実を旨とせよ
- 一、礼儀を正しくせよ
- 一、健康を重んぜよ

教育研究の目的

四天王寺大学

本学は、聖徳太子が四天王寺を創建された精神に基づき、教育基本法および学校教育法に則り、深く専門の学術を研究教授し、現代社会において必要とされる知識を広く授け、もって仏教精神を修得して人々の幸福のために献身し、豊かな教養とすぐれた知見をもち、我国はもとより国際社会に貢献しうる有為の人材を育成することを目的とします。

四天王寺大学短期大学部

本学は、聖徳太子が四天王寺を創建された精神に基づき、教育基本法および学校教育法に則り、深く専門の学術を研究教授し、職業または実際生活において必要とされる能力を授け、もって仏教精神を修得して人々の幸福のために献身し、豊かな教養とすぐれた知見をもち、我国はもとより国際社会に貢献しうる有為の人材を育成することを目的とします。

1 学部・学科(専攻・コース) および入学定員

学部・学科 入学定員

大学

学部	学科(専攻・コース)		入学定員
文学部	日本学科		100名
	国際コミュニケーション学科		90名
社会学部	社会学科		160名
	人間福祉学科		70名
教育学部	教育学科	学校教育コース	200名
		幼児教育保育コース	60名
経営学部	経営学科	公共経営専攻※	40名
		企業経営専攻※	120名

※経営学部総合奨学金にチャレンジできます。(詳細はP.13を参照)

短期大学部

学科	入学定員
保育科	120名
ライフデザイン学科	100名

2 募集人員

大学

学部	学科(専攻・コース)		募集人員
文学部	日本学科		30名
	国際コミュニケーション学科		25名
社会学部	社会学科		45名
	人間福祉学科		20名
教育学部	教育学科	学校教育コース	20名
		幼児教育保育コース	9名
経営学部	経営学科	公共経営専攻	10名
		企業経営専攻	40名

短期大学部

学科	募集人員
保育科	50名
ライフデザイン学科	40名

3 大学 「入学者受入れの方針」 (アドミッション・ポリシー)

〔大学〕

本学では、すべての入学者選抜においてアドミッション・ポリシーに記載したような人物を求めています。卒業認定・学位授与の方針および教育課程編成・実施の方針を踏まえ、求める能力やその評価方法を学力の3要素等と関連付けて明示し、多面的・総合的に評価します。具体的には、次のような人物を求めています。

- (1) 豊かな人間性(慈愛の心・利他の精神)を身につけ、本学で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つことができること〔求める要素：関心・意欲・態度〕
- (2) 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき基礎学力を有し、思考を深めて他者に表現できること〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力、表現力〕
- (3) 多様な文化・価値観を理解し、自ら課題に対して仲間とともに積極的に取り組み、自己研鑽に努めることができること〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

募集学部・学科(コース)	アドミッション・ポリシー	求める要素
	文学部は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受ける条件として、以下のような資質・能力をもつ人物を受け入れることを方針とし、試験や審査を行います。	
	(1)人文科学の専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。	知識・技能
	(2)ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できること。	思考力・判断力、表現力等
	(3)言語・文化に対する様々な事柄に関心を持ち、課題を発見し解決する意欲を有すること。	関心・意欲・態度
	(4)主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、他者と協働できること。	主体性・多様性・協働性
文学部	日本学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1)日本の言語・文化についての専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。	知識・技能
	(2)ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できること。	思考力・判断力・表現力等
	(3)日本の言語・文化に対する様々な事柄に関心を持ち、課題を発見し解決する意欲を有すること。	関心・意欲・態度
	(4)主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、他者と協働できること。	主体性・多様性・協働性
国際コミュニケーション学科	国際コミュニケーション学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1)英語を通して国際文化についての専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。	知識・技能
	(2)ものごとを正確に捉え、論理的に考えることができ、さらに他者に明快に説明できる。	思考力・判断力・表現力等
	(3)言語・文化に対する様々な事柄に関心を持ち、海外体験や国際交流活動を通して課題を発見し解決する意欲を有すること。	関心・意欲・態度
	(4)主体的に行動でき、異なる価値観を理解し、相手の立場や価値観を慮った思いやりの心であるホスピタリティ精神を持ちながら他者と協働できること。	主体性・多様性・協働性
社会学部	社会学部は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受ける条件として、以下のような資質・能力をもつ人物を受け入れることを方針とし、試験や審査を行います。	
	(1)社会科学の諸領域の専門知識・技能等を学ぶのに必要な基礎学力を有すること。	知識・技能
	(2)人間・社会(世界)・文化に対する様々な事柄に関心を持ち、専門的な知識・技能を身につけ、課題を発見し解決する意欲を有すること。	関心・意欲・態度、思考力・判断力・表現力
	(3)他者や社会との関係において、自ら主体的に思考し実践するとともに、異なる価値をもつ他者や異文化を理解し、他者と協働してものごとに取り組む姿勢をもつこと。	主体性・多様性・協働性

募集学部・学科(コース)		アドミッション・ポリシー	求める要素
社会学部	社会学科	社会学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
		(1)人間や社会、地域やメディア、心理、歴史に関するさまざまなテーマについて深い興味関心があること	関心・意欲・態度
		(2)あたり前のものの見方を疑い、さまざまな角度からものごとをとらえようとする	思考力・判断力、表現力
		(3)社会学科の学びに必要な読解力や論理的思考力、表現力を有すること	知識・技能、思考力・判断力、表現力
	(4)個人や社会に関するさまざまな課題に対して、他者と協働しながら積極的に取り組んでいく意欲があること	主体性・多様性・協働性	
	人間福祉学科	人間福祉学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
		(1)他人の話に耳を傾けることができること。	関心・意欲・態度
		(2)少子高齢化など社会的問題に関心を持っていること。	
		(3)相談援助の知識や技術を高めようとする目標を持っていること。	知識・技能、思考力
		(4)違う価値観の人と協働して、物事に取り組むことができること。	主体性・多様性・協働性、思考力・判断力、表現力
(5)ボランティアなどの活動に関わり実践から学ぼうとする意欲があること。	主体性・多様性・協働性		
教育学部	教育学科	教育学部は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
		(1)教育・保育に対する強い情熱をもって専門的に学びながら、子どもの多様なニーズへの共感的理解をもとに、一人一人に応じた支援やケアを重視して教育・保育に取り組む熱意溢れる人	関心・意欲・態度
		(2)本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で習得すべき基礎学力を有し、教育・保育についての学びや実践を、子どもの発達を総合的に見通して取り組むことができるように、広い視野から現代の教育課題を捉え、教育・保育活動にいかしていこうと努める人	知識・技能、思考力・判断力、表現力
	(3)他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようとする人	主体性・多様性・協働性	
	教育学科 学校教育コース	教育学科学校教育コースは、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
		(1)教育に対する強い情熱を持って専門的に学びながら、子どもの多様なニーズへの共感的理解をもとに、一人一人に応じた支援やケアを重視して教育に取り組む熱意溢れる人	関心・意欲・態度
		(2)本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき基礎学力を有し、教育についての学びや実践を、子どもの発達を総合的に見通して取り組むことが出来るように、広い視野から現代の教育課題を捉え、教育活動にいかしていこうと努める人	知識・技能、思考力・判断力、表現力
	(3)他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようとする人	主体性・多様性・協働性	
	教育学科 幼児教育保育コース	教育学科幼児教育保育コースは、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
		(1)強い意志と情熱を持って専門的に学びながら「めざす保育者像とは」、と問い続けていく人。また、子どもを一人の人間として尊重し、一人一人の子ども「心もち」に寄り添い、発達課題に応じた支援やケアを考えようとする人。	関心・意欲・態度
(2)本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で習得すべき基礎学力を有し、教育・保育についての学びや実践を、子どもの育ちや子どもが育つ家庭環境や地域社会の状況を考え、広い視野から現代の教育・保育課題を捉え、教育保育活動に活かしていこうと努める人		知識・技能、思考力・判断力、表現力	
(3)他者や社会との対話を通して自己の考えを表現し、豊かな人間関係を築きながら協働の力を発揮しようと努める人。また、探究心と洞察力を持ち、新しい課題にも果敢に挑戦し、実践力、指導力を身につけようとする人	主体性・多様性・協働性		

募集学部・学科(コース)	アドミッション・ポリシー	求める要素
	<p>経営学部では、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。</p> <p>(1)高等学校等の教育課程を幅広く修得しており、大学での学修に必要な基礎知識・学力・技能を有していること。</p> <p>(2)経済・経営や社会・生活に関する諸問題に関心を持ち、将来、専門知識や経験を活かして、企業人や公務員としてさまざまな分野で活躍し、社会に貢献しようとする高い就業意欲や使命感があること。</p> <p>(3)学校行事、クラブ活動、ボランティア活動等を主体的、かつ他者と協働して幅広く取り組んだ経験があり、そこでの自らの役割と成果を説明できること。</p> <p>(4)高等学校までのグループ活動等の学びを通じて、社会的課題に関心を持ち、さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考え、自己の意見を表現できること。</p>	<p>知識・技能</p> <p>関心・意欲・態度</p> <p>主体性・多様性・協働性</p> <p>思考力・判断力・表現力</p>
経営学部	<p>経営学科公共経営専攻は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。</p>	
	<p>(1)高等学校等の教育課程を幅広く修得しており、大学での学修に必要な基礎知識・学力・技能を有していること。</p>	知識・技能、
	<p>(2)経済・経営や社会・生活に関する諸問題に関心を持ち、将来、専門知識や経験を活かして、公務員としてさまざまな分野で活躍し、社会に奉仕しようとする高い就業意欲や使命感があること。</p>	関心・意欲・態度
	<p>(3)学校行事、クラブ活動、ボランティア活動等を主体的に、かつ他者と協働して幅広く取り組んだ経験があり、そこでの自らの役割と成果を説明できること。</p>	主体性・多様性・協働性
	<p>(4)高等学校までのグループ活動等の学びを通じて、社会的課題に関心を持ち、さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考え、自己の意見を表現できること。</p>	思考力・判断力・表現力
経営学部	<p>経営学科企業経営専攻は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。</p>	
	<p>(1)高等学校等の教育課程を幅広く修得しており、大学での学修に必要な基礎知識・学力・技能を有していること。</p>	知識・技能、
	<p>(2)経営・経済や社会・生活に関する諸問題に関心を持ち、企業・団体等への高い就業意欲や起業・事業継承に向けての意欲があり、そのために資格取得や国内外で実施するインターンシップにも積極的かつ誠実に取り組む気持ちがあること。</p>	関心・意欲・態度
	<p>(3)学校行事、クラブ活動、ボランティア活動等を主体的に、かつ他者と協働して幅広く取り組んだ経験があり、そこでの自らの役割と成果を説明できること。</p>	主体性・多様性・協働性
	<p>(4)高等学校までのグループ活動等の学びを通じて、社会的課題に関心を持ち、さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考え、自己の意見を表現できること。</p>	思考力・判断力・表現力
看護学部	<p>看護学部は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような能力・資質、目的意識をもった人物を求めます。</p>	
	<p>(1)看護学を学ぶための基礎的能力を有している人</p>	知識・技能
	<p>(2)人間の生命や尊厳を大切に、他者の苦痛や悩みを理解しようとする人</p>	思考力・判断力
	<p>(3)学問への真摯な態度を持ち、自ら学ぼうとする人</p>	関心・意欲・態度
	<p>(4)人間の可能性や柔軟な心を信じ、人間に関心を寄せられる人</p>	思考力・判断力、 知識・技能
	<p>(5)失敗を恐れず、失敗から謙虚に学び、成長しようとする人</p>	関心・意欲・態度
	<p>(6)看護を通して社会に貢献しようという志を持つ人</p>	表現力、 主体性・多様性・協働性

〔短期大学部〕

本学では、すべての入学者選抜においてアドミッション・ポリシーに記載したような人物を求めています。卒業認定・学位授与の方針および教育課程編成・実施の方針を踏まえ、求める能力やその評価方法を学力の3要素等と関連付けて明示し、多面的・総合的に評価します。具体的には、次のような人物を求めています。

- (1) 豊かな人間性（慈愛の心・利他の精神）を身につけ、本学で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つことができること〔求める要素：関心・意欲・態度〕
- (2) 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき基礎学力を有し、思考を深めて他者に表現できること〔求める要素：知識・技能、思考力・判断力、表現力〕
- (3) 多様な文化・価値観を理解し、自ら課題に対して仲間とともに積極的に取り組み、自己研鑽に努めることができること〔求める要素：主体性・多様性・協働性〕

募集学科	アドミッション・ポリシー	求める要素
短期大学部 保 育 科	保育科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1) 保育や子どもに対する学びへの興味・関心が高く、慈愛に満ち、将来、保育者(幼稚園教諭・保育士・保育教諭)となる意志が明確なこと。	関心・意欲・態度、 表現力、 主体性・多様性・協働性
	(2) 将来、保育現場で、子どもの援助だけではなく、子育て支援等における保護者への支援の基礎となるコミュニケーション能力や自己表現力を、仲間と協調して高めようとする姿勢のあること。	
	(3) 保育現場で要求される保育技術、特にピアノ演奏についての能力の獲得意欲のあること。	関心・意欲・態度、 知識・技能、表現力、 主体性・多様性・協働性
	(4) 高校生活全般を通して自分の知的好奇心を育てながら、高等学校で学ぶ基礎学力(特に国語)および音楽に対する基本的な知識を身につけていること。	関心・意欲・態度、 知識・技能、 主体性・多様性・協働性
短期大学部 ライフデザイン学科	ライフデザイン学科は、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるための条件として、具体的には次のような資質・能力、目的意識をもった人物を求めます。	
	(1) 豊かな教養と専門性を備え、将来グローバルに活躍できるビジネスパーソンになることを目指すこと	思考力・判断力、表現力
	(2) 自らのライフプランとキャリアプランを描くため、自分の将来像や仕事のイメージ作り、適職探しに興味を持つこと	主体性・多様性・協働性
	(3) 仕事に必要なビジネス関連知識を修得し、各種資格取得を目指すこと	知識・技能
	(4) コミュニケーション能力を高め、物事に積極的にチャレンジする熱意のあること	関心・意欲・態度
(5) 高等学校等で学ぶ、基礎的な国語力と情報処理能力を身につけていること	知識・技能	

4 出願・合格発表等について

〔大学〕

出願期間	合格発表	入学手続期間	
2023年 10月6日(金) 午前 9:00 } 10月13日(金) 正午12:00	2023年 11月1日(水)	入学金 2023年 11月1日(水) } 11月16日(木)	授業料等 2023年 11月1日(水) } 2024年 1月19日(金)

〔短大〕

出願期間	合格発表	入学手続期間	
2023年 9月1日(金) 午前 9:00 } 9月15日(金) 正午12:00	2023年 11月1日(水)	入学金 2023年 11月1日(水) } 11月16日(木)	授業料等 2023年 11月1日(水) } 2024年 1月19日(金)

1 出願資格

〔大学〕

面接等を通して、出願資格の認定を受け、次の各項のいずれかに該当する者

〔短大〕

4月～8月のオープンキャンパス開催時のエントリーを通して、出願資格の認定を受け、次の各項のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2024年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の過程による12年の学校教育を修了した者、または2024年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または2024年3月までに該当する見込みの者

2 出願方法

インターネット出願トップページから、必要な情報を登録・確認してください。登録は**出願開始日の「午前9時」から出願締切日の「正午12時まで」**です。その後、選択された方法で入学検定料を、**出願締切日の「15時まで」**に支払ってください。

出願完了(入学検定料支払い)後は、出願内容の変更を一切認めません。(詳細は、「インターネット出願の流れ」(P.9～)を参照し出願してください。)

3 入学検定料：32,000円(大学・短期大学部共通)(但し、別途手数料が必要。詳細はP.11 STEP2参照)

4 出願上の注意

- (1) いったん納入された入学検定料および受理した書類は、いかなる場合も返還しません。
- (2) 入学検定料未納の場合、また提出書類に不備があった場合、出願を受け付けません。

5 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続に際して、志願者から本学に提供された個人情報については、志願者への連絡、合格通知、入学手続者への各種案内の発送、個人が特定されない入試・入学に関する各種統計資料の作成、入学後の学内の学生個人データ作成およびこれらに付随する事項を行う為に利用します。

上記の業務の一部を業者に委託する場合、委託業者等に対し漏洩や目的以外の利用を行わないように機密保持契約を義務付け、厳重な管理を行うよう指導します。

5 インターネット出願の流れ

インターネット出願トップページ (<https://prod.shutsugan.ucaro.jp/shitennoji/top>) にアクセスできる環境を準備してください。

STEP
1

出 願 登 録

画面の表示に従って出願に必要な情報を入力し、内容を確認。
登録は出願締切日の「正午 12 時まで」です。
なお、入学検定料支払い後に出願内容の変更はできません。

大学のインターネット出願の流れ（短大は P.10 参照）

① ご用意いただくもの

- インターネットに接続されたパソコンまたはスマートフォン（タブレット）が必要です。
- クレジットカード（クレジット決済をする場合のみ）

② 出願トップページへアクセス

- 「出願する」 ボタンをクリックしてください。
- 総合型選抜（AO 入試）オープンキャンパス参加型はエントリーおよび面接等を通じた方のみ出願できる入試制度のため出願登録時にパスワードの入力が求められます。その際は、結果通知に同封している書類をご確認ください。

③ パスワード認証

パスワード認証

学校から指示のあったパスワードを入力し、[次へ進む]ボタンを押してください。

パスワード

資料に記載のパスワードを入力してください。

次へ進む

④ 出願内容の入力・確認

- 出願する入試の「出願する」 ボタンをクリックしてお進みください。



【注意】 出願内容を十分確認してください。入学検定料支払い後の内容変更はできません。

⑤ 出願番号・支払情報の確認（WEB サイト上での登録完了）

- 出願登録完了画面に表示される必要情報をメモしてください。

■ 出願番号(6桁)

※受験番号・合否照会サービス利用時や出願内容確認時に必要です。

■ お客様番号・オンライン決済番号

※コンビニエンスストア、ペイジー（ATM、ネットバンキング）での支払いに必要です。

■ 確認番号(5桁)

※プリンターをお持ちの場合は、宛名ラベルを印刷して書類送付にご利用ください。

※出願内容およびお支払方法の画面を印刷もしくは保存しておくことをおすすめします。

短大のインターネット出願の流れ

① ご用意いただくもの

- インターネットに接続されたパソコンまたはスマートフォン（タブレット）が必要です。
- クレジットカード（クレジット決済をする場合のみ）

② 出願トップページへアクセス

※ 受験ポータルサイト UCARO への登録がお済みでない方は、事前登録をしてください。

- 総合型選抜（AO 入試）オープンキャンパス参加型はエントリーを通過した方のみ出願できる入試制度のため出願登録時にパスワードの入力が求められます。その際は、結果通知に同封している書類をご確認ください。

③ パスワード認証

パスワード認証

学校から指示のあったパスワードを入力し、[次へ進む]ボタンを押してください。

パスワード

資料に記載のパスワードを入力してください。

次へ進む

④ 出願内容の入力・確認

- 出願する入試の「出願する」ボタンをクリックしてお進みください。



【注意】 出願内容を十分確認してください。入学検定料支払い後の内容変更はできません。

⑤ 出願番号・支払情報の確認（WEB サイト上での登録完了）

- 出願登録完了画面に表示される必要情報をメモしてください。

■ 出願番号(6桁)

※受験番号・合否照会サービス利用時や出願内容確認時に必要です。

■ お客様番号・オンライン決済番号

※コンビニエンスストア、ペイジー（ATM、ネットバンキング）での支払いに必要です。

■ 確認番号(5桁)

※プリンターをお持ちの場合は、宛名ラベルを印刷して書類送付にご利用ください。

※出願内容およびお支払方法の画面を印刷もしくはは保存しておくことをおすすめします。

⑥ 出願書類について

- 調査書：高等学校長が、出願 3 ヶ月以内に作成し厳封したもの。

送付先

〒583 - 8501

大阪府羽曳野市学園前 3 丁目 2-1 TEL.072-956-3183（直通）

四天王寺大学

四天王寺大学短期大学部 入試・広報課

STEP
2

入学検定料の支払い

入学検定料の支払いについては、各種収納機関を利用して、**出願締切日の「15時まで」に支払ってください。支払い期限を過ぎると支払いができなくなり、登録した出願内容が無効になります。**

〔大学・短大共通〕

※入金後は確認のメールが届きますので必ずご確認ください。複数回の入金(クレジットカード含む)をされないようご注意ください。

※入学検定料の支払い前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずにSTEP1からやり直してください。



①コンビニエンスストア

現金支払

- セブンイレブン
- ローソン、ミニストップ (Loppi)
- ファミリーマート
- セイコーマート、デイリーヤマザキ



②金融機関 ATM (ペイジー)

現金支払

キャッシュカード

ゆうちょ銀行・Pay-easy 対応 ATM を利用

※現金によるお支払いは、入学検定料の総額が 10 万円未満の場合のみ可能です。



③ネットバンキング

口座引落

ネットバンキング



④クレジットカード

支払いは一括のみとなります。

- VISA
- Master Card
- JCB
- AMERICAN EXPRESS
- Diners Club

インターネット出願で出願して入学検定料を支払う場合は、入学検定料の他に手数料が必要です。

手数料：コンビニ・金融機関 ATM (Pay-easy)・ネットバンキングは、入学検定料が 5 万円以上は 660 円、5 万円未満は 440 円。
クレジットカードは、一律 440 円。

STEP
3

合格発表

合格発表日の**午前 10 時から**
受験ポータルサイト「UCARO」で合否照会ができます。

〔大学・短大共通〕

- 合否結果は、受験ポータルサイト「UCARO」の「合否照会」で確認できます。
- 照会期間は、各入試における合格発表日の午前 10 時からです。
- 合格者には、合格発表日に合格通知書を郵送します。
- 不合格者・欠席者に対する郵送での通知は行いません。
- 電話やメールによる合否に関するお問い合わせには一切応じません。

6 多様な受験生、不慮の事故等による負傷者・疾病者等への対応について

- 1 受験時や入学後の修学等において特別な配慮を必要とされる場合は、必ず出願開始の1カ月前までに申請書類等の提出が必要となりますので、早めに入試・広報課にご相談ください。本学としては、個別配慮や施設面等の改善に努力しておりますが、ご相談の内容によっては受験時及び入学後の修学上の対応ができず、特別の措置を講じることができない場合がありますのでご了承ください。
なお、入学後の修学等において特別な配慮を必要とされる方は、実習実施の関係等で資格取得や卒業に支障が生ずる場合がありますので、必ず事前にご相談ください。
※上記の申し出が無い場合や、申し出期限以降に相談があった場合などは、可能な受験上の配慮や入学後の修学の配慮ができない場合がありますので、必ず事前にご相談ください。
- 2 出願後の不慮の事故による負傷や疾病により、受験時に特別な配慮を必要とされる場合は、早めに入試・広報課まで申し出てください。また、それらの事由により受験できなかった方への追試験は行っていません。

7 入学手続

- 1 入学金・授業料等の納入は、入学手続期間内に行ってください。入学手続期間を過ぎるといかなる理由があっても受け付けません。
- 2 入学手続に関する提出書類の詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。
- 3 本学では、納入された入学金・授業料等の納付金を本学の他学部・学科（専攻・コース）の入学手続納付金として振替えることができます。振替手続の方法・期間については、合格通知書に同封する書類を参照してください。

8 学費等

2024年度入学生学費等

(文学部・社会学部・教育学部・経営学部・短期大学部)

種別	学期	初年度		2年次以降	
		入学手続時納付金	冬学期納付金	夏学期納付金	冬学期納付金
学納金	入 学 金	300,000 円	—	—	—
	授 業 料	418,500 円	418,500 円	418,500 円	418,500 円
	運 営 維 持 費	80,000 円	80,000 円	80,000 円	80,000 円
	施 設 拡 充 費	80,000 円	80,000 円	80,000 円	80,000 円
同窓会費（委託徴収）		10,000 円	—	—	—
後援会費（委託徴収）		9,000 円	9,000 円	9,000 円	9,000 円
合 計		897,500 円	587,500 円	587,500 円	587,500 円

- 1 入学金・同窓会費は入学時のみ必要です。
- 2 授業料・運営維持費・施設拡充費・後援会費は、入学手続時と冬学期に分けて納入してください。
- 3 納入された入学金は、いかなる理由があっても返還しません。
- 4 次年度以降の納付金の額は、社会情勢の変動により変更する場合があります。

9 実験・実習費等

- 1 大学、短期大学部の学部・学科（専攻・コース）において該当する実験・実習費・学外実習費等については、入学後定められた期日までに納入してください。
- 2 納入された実験・実習費・学外実習費等は、いかなる理由があっても返還しません。

10 国際コミュニケーション学科の海外体験実践演習(海外研修)の費用について

国際コミュニケーション学科では、異文化体験を通して、これからの国際社会に的確に対応する力を身につけていくことを目的とし、1年次全員を対象とした海外研修「海外体験実践演習」を実施します。渡航先はアジアを予定しています。参加費のうち、現地授業料及び滞在費(宿泊費)は大学側が負担し、免除となります(予定)。現地授業料及び滞在費の費用以外(航空券、保険、現地移動費、税金、手数料等)は参加者の方のご負担となります。

費用の支払いにつきましては、プログラムへの参加前に本学または各機関へお振り込みいただくこととなります。また、食費等の一部現地でお支払いいただく費用があります。

「海外体験実践演習」の詳細につきましては、入学後のオリエンテーション時に詳細を説明いたします。

11 経営学科 公共経営専攻の IBU 公務員プログラムの費用について

経営学科 公共経営専攻では、入学から4年間のIBU公務員プログラムを通して国家一般職、地方上級、国税専門官等の難関公務員試験の合格をめざします。公共経営専攻の学生は、当プログラムの参加が必須となりますので、1年次からの公務員講座を全員が受講する必要があります。

そのため講座料及び教材費を入学後定められた期日までに納入していただくこととなります。公務員講座に関する詳細につきましては、キャリアセンターより4月上旬に別途ご案内します。

〔参考：IBU公務員プログラム講座料等実績〕※2年次は必要ありません(授業内に科目設置)。

	1年次	3年次
講座料	40,000 円	100,000 円
教材費	5,000 円	20,000 円
合計	45,000 円	120,000 円

12 経営学部総合奨学金について

奨学金名	対象入試	対象者	給付金額
経営学部 総合奨学金	一般選抜 前期日程	本学の一般選抜前期日程における成績の上位者 ●経営学部において、 同窓入試より前の入試での入学金納入者または同窓入試および学校推薦型選抜後期日程の合格者で、奨学金受給を希望する者は、同一専攻に限り、一般選抜前期日程を検定料全額免除で再度受験することができます。 なお、専攻を変えて受験する場合は所定の検定料が必要です。 ※2年次以降は、前年度までの成績に応じ対象者を再び選抜し、その年次の奨学金を支給します。	公共経営専攻 入学した者の内、上位4名(試験合計の得点率65%程度)までを授業料全額相当額支給とし、以下8名(試験合計の得点率60%程度)までを授業料半額相当額支給とする。また、これらの者に対しては公務員プログラム講座料を全額免除する。
			企業経営専攻 入学した者の内、上位12名(試験合計の得点率60%程度)までを授業料半額相当額支給とする。

13 基礎教育科目の履修および授戒会への参加について

四天王寺大学では、「建学の精神」としての「和の精神」を持ち、実社会で活躍できる人間形成をめざした教育を行っています。

学生みなさんに、人間教育として「建学の精神」について学び、身につけてもらう大切な機会として、1年次に基礎教育科目（和の精神など仏教関連科目）の必修科目(*)の履修や授戒会（他者に思いやりをもって、誠実な生き方をするという宣誓式）への出席をもとめています。

(*)必修科目…卒業までに必ず修得しなければならない科目

この科目の履修や授戒会への参加には、スーツの着用が必要です。

以上、すべてに同意していただけない場合は、出願していただくことができませんのでご了承ください。

14 入学辞退

入学時納付金納入後に入学を辞退する場合は、入学金を除く入学時納付金を返還します。

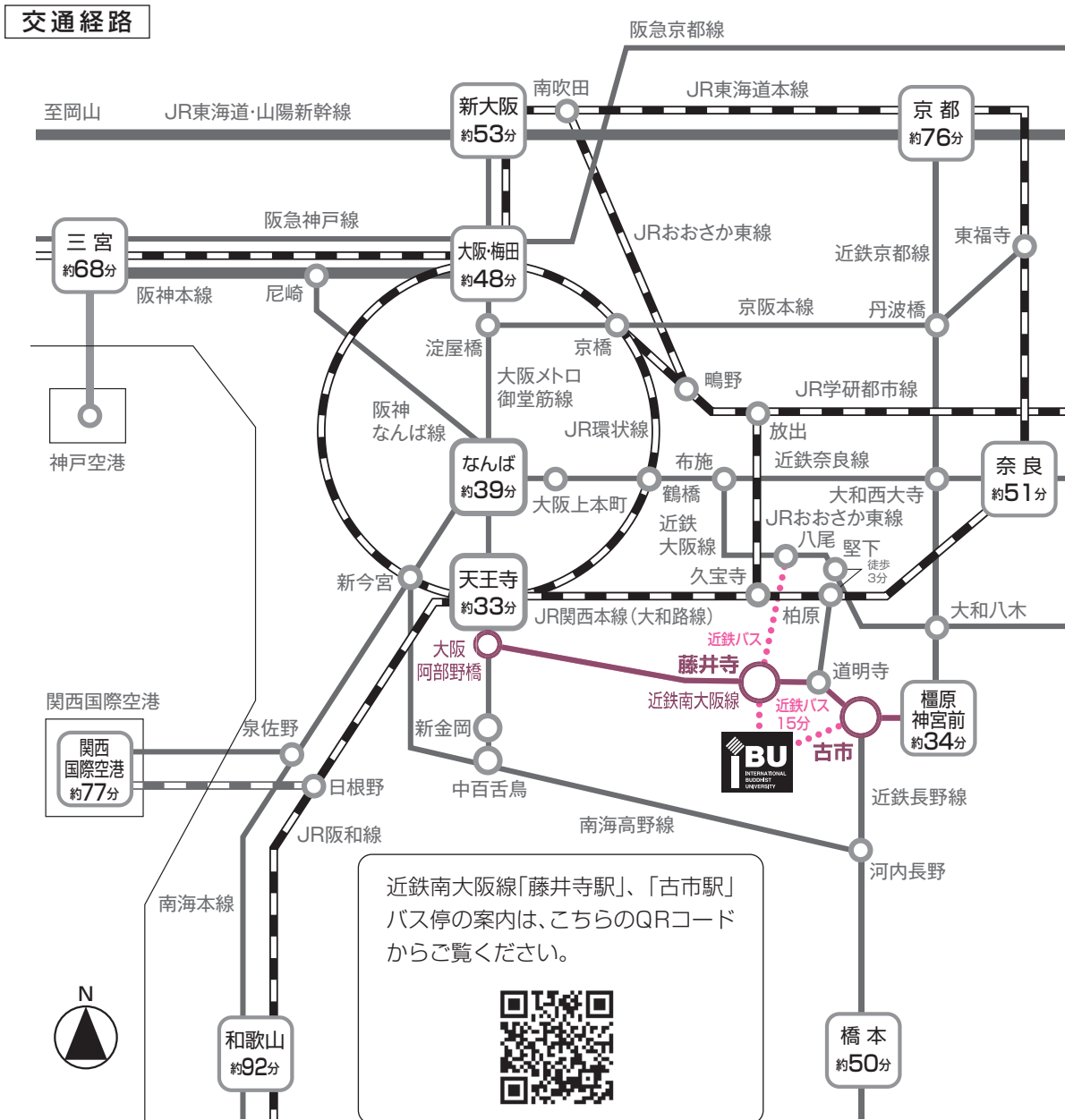
入学を辞退する場合は、入学辞退届を送付または持参してください。入学辞退届を本学で受理後、下表の返還予定日に入学金を除く入学時納付金を返還します。

2024年3月29日（金）17：00以降は、いかなる理由があっても受け付けません。

	辞退届提出日	返還予定日
第1回	2024年2月19日(月) 17:00まで〔必着〕	2024年3月12日(火)
第2回	2024年3月4日(月) 17:00まで〔必着〕	2024年3月26日(火)
第3回	2024年3月29日(金) 17:00まで〔必着〕	2024年4月19日(金)

15 交通手段について

本学へは、近鉄南大阪線 大阪阿部野橋駅より準急に乗車し、藤井寺駅で下車。または、橿原神宮前駅・河内長野駅方面からは古市駅で下車。いずれの駅からも、近鉄バス四天王寺大学行に乗車し、終点で下車してください（大阪阿部野橋駅へは、JR天王寺駅・大阪メトロ天王寺駅より徒歩約5分です）。



■鉄道利用

新幹線利用および京都・神戸方面から
新大阪駅又は大阪(梅田)駅を經由し、JR大阪環状線又は大阪メトロ 御堂筋線を利用して天王寺(大阪阿部野橋)駅へ。

■航空機利用

関西国際空港からJR線で天王寺(大阪阿部野橋)駅下車。
大阪空港から空港バスであべの橋バス停下車。

※入学試験当日、スクールバスは運行していません。



〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1

TEL.072-956-3181(代)

ホームページへのアクセスは、<https://www.shitennoji.ac.jp/ibu/>